

凡 例

方 位 $\rightarrow$ 既存道路及び擬定道路 $\equiv$ 市 町 村 界

申請する道路の
位置 (左側記入)

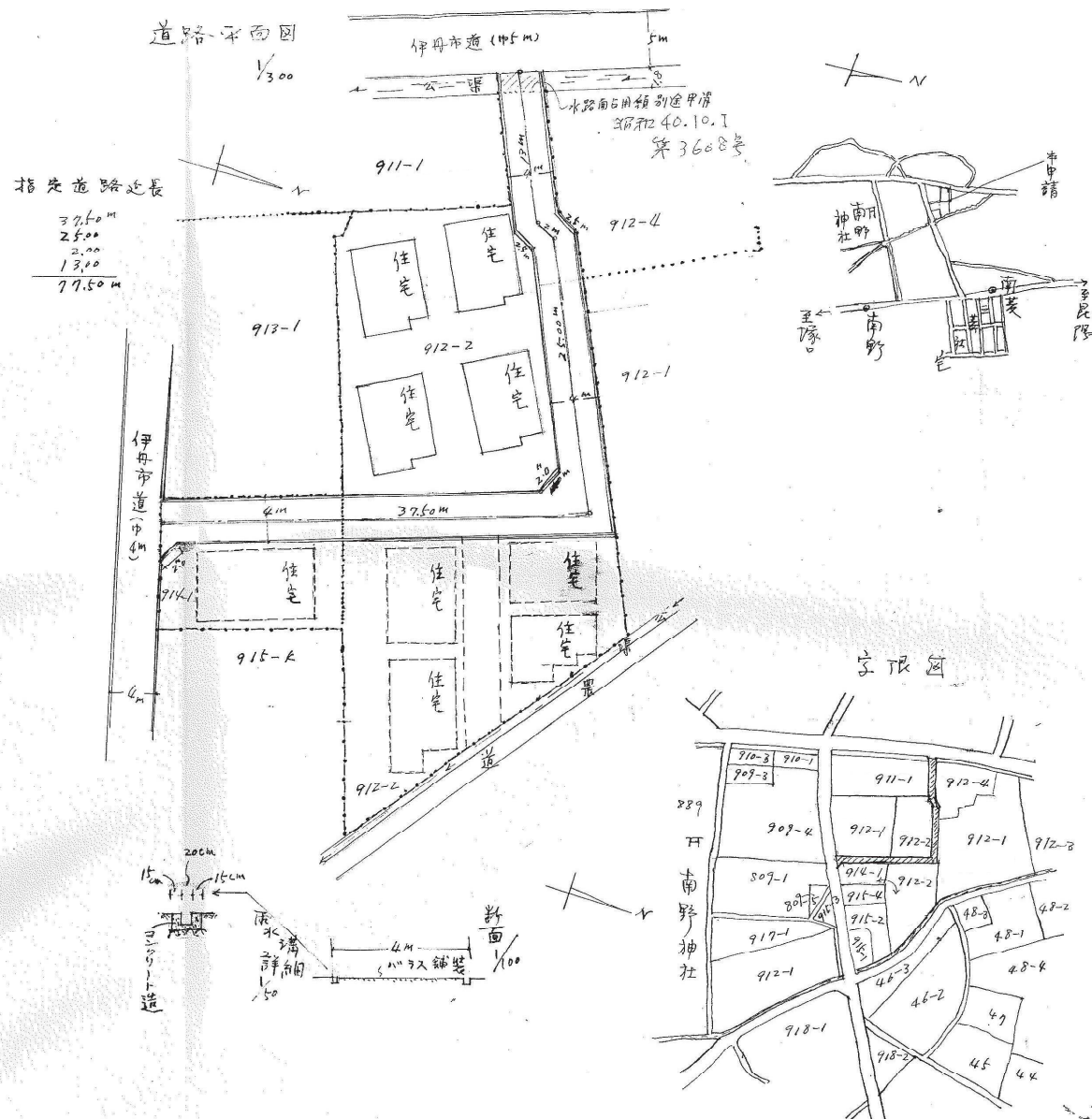
今後予定する道路 $---$ 既 存 建 築 物
(右側記入)

標識の位置 境 番 界

下 水・下水道 敷 地 界

注 意

1. 申請書の添付図面に土地所有権、借地権又はその土地内の建築物若しくは工作物について第三者の権利がそれと記入してください。
2. 図面には地名、申請者の氏名を記入してください。
3. 道路の用途、延床面積の方位は一致させてください。
4. 申請する道路並びに隣接する建築物の位置を記入してください。
5. 道路は、幅員の数値はメートルを使用し、少数点以下2位を記入してください。



指定年月日・番号	22年12月15日 第22-11号
告示年月日・番号	22年12月15日 第181号

承 諾 書				
次の図面記載のとおり道路の位置の指定・指定の取消しを承諾します。 平成22年12月10日 (申請者) 様				
道路の幅員・幅員別の道路の延長	幅員 4.0 m 延長 42.5 m m	道路の面積	△170.00 m ²	
工事着手予定年月日	22年11月25日	工事完了予定年月日	22年11月30日	
道路管理者の住所及び氏名	電話 番			
道路となる土地の地名地番 (取付済部分)	地目	権利の種類	住所	氏名 印
南野北1丁目 252	宅地	所有権		
253	宅地	所有権		
271	雑種地	所有権		
254	宅地	所有権		
263	宅地	所有権		
270	宅地	所有権		
272	宅地	所有権		
273	宅地	所有権		
特記事項				
図面作成者の住所及び氏名	住所 氏名			

凡 例

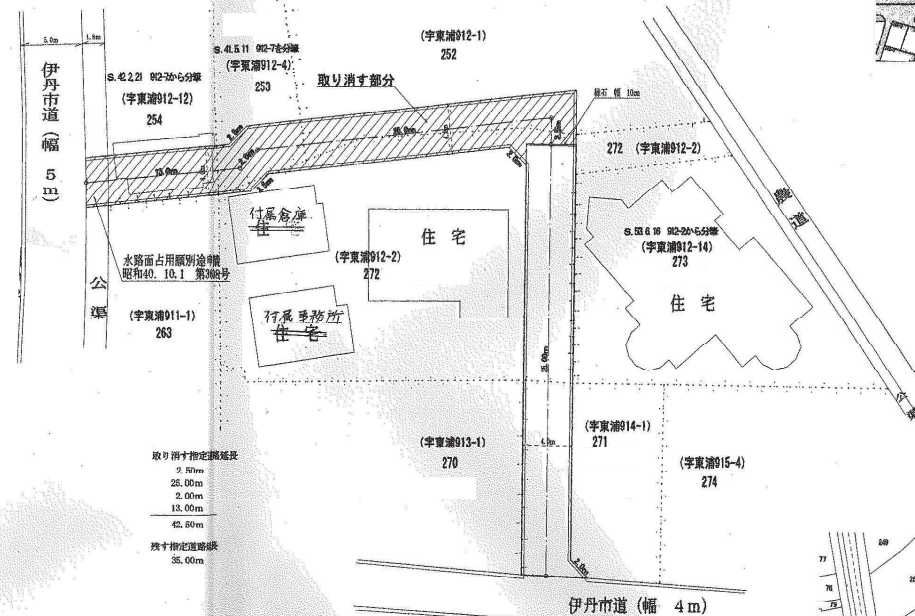
方 位	→	既存道路及び既指定道路 (年月日・番号記入のこと)	市町村界
申請する道路 の位置(本番)	○	今後予定する道路	既存建築物 (用途記入のこと)
標識の位置	⊕	地 番 界	予定建築物 (同上)
下水・側溝等	≡	敷 地 界	

【注意】

- 承諾書の「権利の種類」欄は、土地又はその土地内の建築物若しくは工作物について該当する権利（所有権・借地権等）をそれぞれ記入すること。
- 図面にも地番が、権利の種類及び氏名を記入のこと。
- 付近地図、道路図及び標準断面図を記載し、方位は一致させること。
- 図面に字限図を記載するとともに、その転写場所、転写年月日及び転写した者の住所氏名を記入し押印すること。
- 延長は幅員別に記入すること。
- 本用紙のみで記入されない場合は、同質、同形の用紙を使用し、該当する部分において権利を有する者及び図面作成者の印で本用紙と併用して追加すること。
- 申請書（正・副）には本用紙（追加紙を含む）のコピーを添付し、本用紙は別に（同時）に提出すること。

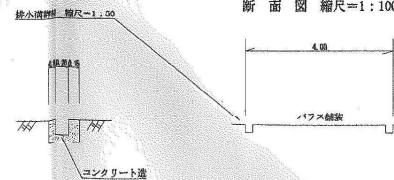


道 路 平 面 図 縮 尺=1:300



取り消す指定道路延長
9.50m
25.00m
2.00m
13.00m
42.00m
残す指定道路幅員
35.00m

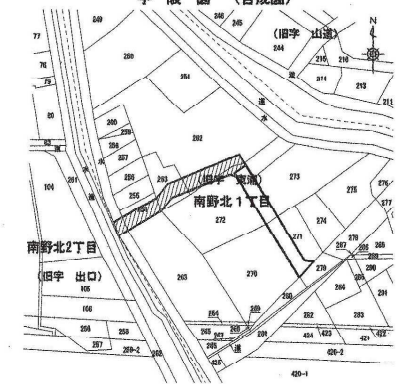
断 面 図 縮 尺=1:100



位 置 図



字 限 図 (合成図)



平成22年5月19日神戸地方支務局伊丹支局にて転写